

富山県士会版 MTDLP 事例報告の書き方マニュアル(2018 年度 簡略バージョン)

生活行為向上マネジメントによる事例登録の促進につながりやすくすることを目的に、レジメの項目、書式を変更いたしました。MTDLP 事例報告は以下の書式に従って、レジメ作成をお願いいたします。検討会ではレジメを読み進める形式での報告をお願いします。

簡略バージョンですので、事例登録で設定される文字数や項目が異なります。ご注意ください。

I. レジメ

表題: 報告の主旨を表現する表題を, 50 文字以内で記入してください。

1. 事例紹介

150 字以内で、年齢、疾患名、既往歴、現病歴、MTDLP の対象となるまでの経緯、社会的背景など、本事例の包括ケア方針に関連する個人因子と環境因子について述べてください。特に、対象者の作業歴がわかる場合はここに詳しく示すことが大切です。

2. 作業療法評価

200 字以内で、生活行為向マネジメントシート of 生活行為アセスメントの内容を具体的に記入してください。生活行為の目標、心身機能・構造、活動と参加、環境因子、合意した目標・自己評価というように順を追って記載するようにしてください。

3. 介入の基本方針

200 字以内で、目標あるいは課題達成のために、どのような方針で生活行為アセスメントを進めたのかを具体的に述べてください。

4. 介入経過

400 字以内です。ここで必要な内容は「どのような経過」を辿ったのか、ということです。経過が長い、あるいは支援項目が多い場合は、期間をいくつかの「期」に分け、支援項目ごとに整理する などのように読者(審査員)に伝わりやすい表現を工夫してください。対象者に変化を与えたと思われる主要な支援方法は詳細に述べ、読者が追試を試みようとするときに役立つ情報を提供してください。プログラムの変更があった場合にはその理由を 述べ、予期せぬ変化等についても記述してください。対象者の質的な変化は、介入経過で記載してください。

5. 結果

200 字以内です。まず、ここでは目標が達成できたのか、また、自己評価の変化を記載します。主に、支援によって得られた評価指標(数値)や自己評価の数値の変化を記載してください。

6. 考察

300字以内で、「結果」で述べた、対象者の変化に関する解釈を記述します。MTDLPは対象者の標的問題(生活行為に影響する課題)にどのような変化(効果)をもたらしたのか、あるいはもたらさなかったのか、これらはどのような理由によるものか等を、利用した評価指標の変化との関連から考察してください。そして、今回実践した MTDLP は、対象者の生活にどのような変化をもたらしたのか、対象者にとっての意味や価値という視点、活動や参加、生活の質といった視点についても可能な限り考察してください。

7. 課題提示

介入する中で、困難であったこと、うまくいかなかったことなどを記載してください。検討会ではこのテーマに沿って話し合いを進めます。

II. 添付書類

1. MTDLP シート(事例報告用)
2. 生活行為課題分析シート(事例報告用)
3. 社会資源情報シート(事例報告用) ※利用がある場合のみ
4. 生活行為申し送り表 ※使用した場合のみ

シートは OT 協会 HP のテンプレートファイルからダウンロード可能です。

<http://www.jaot.or.jp/science/MTDLP.html>

各シートの詳細な書き方については、事例報告書の手引きをご覧ください。

https://www.jaot.net/jireinet/download/sadoku_tebiki_mtdlp-Ver2.0.pdf

問い合わせ先
富山医療福祉専門学校
藤井 暁子
Email:fujia@tif.ac.jp